

# 論壇

## 北朝鮮次第で日本直面も

仕事で欧州にきている。現地の人といろいろなテーマで意見交換をしているが、印象的なのは当地で移民や難民に関する関心が非常に高いことである。内戦状態にあるシリアからは大量の難民が欧州に移動している。ドイツが難民を積極的に受け入れる姿勢を示したこともあって、欧州には大量のシリア難民が来ている。

国民投票でEU（欧州連合）からの離脱を決めたイギリスでは、ポーランドなどから大量の移民が入り込み、地元の労働者の職を奪

伊藤 元重 学習院大教授(国際経済学)

っているという不満が広がっている。今回私が訪問したスペインやイタリアは、地理的にアフリカが近いこともあって、北アフリカなどからの移民が多いという。政治的な混乱や経済的な貧困の中にあるアフリカの人にとって、豊かな欧州は魅力的な存在なのだろう。

### ひとつとではではない難民問題

こうした問題は日本からは縁遠いように見える。実際、日本の政治などの場で移民や難民の問題が論じられることは極端に少ない。欧州の人たちに、「日本では移民や難民についてどのような議論が行われているのか?」と問われて

も、彼らが納得できるような返事はできそうもない。

ただ、日本が移民や難民の問題に無関心でいられるというものでない。日本は難民の引き受けに熱心ではないと批判されることが少なくない。確かに、日本が引き受けてきた難民の数は少ない。世

界のあちこちで政治的混乱が続き、難民の数が増えている。そうした人々にどのように支援の手を差し伸べるのかということ、先進国共通の課題である。日本も難民問題に積極的に取り組まなくてはならない。

に大量の難民や移民が押し寄せてくる可能性がないとは言えない。特に北朝鮮が政治的に混乱するようになるとあれば、大量の難民が中国や韓国などの隣国に流入するとされる。日本との間には緩衝があるが、一部が日本に流れ込んで来ないという保証はない。何百隻という船が日本に向かって来た時、日本はどう対応したら良いのだろうか。そんな事態は考えにくいと言われるかもしれないが、欧州ではそうした事態が現実化しているのだ。

#### 欧州の動向注視し対応を

世界中に豊かな国と貧しい国が混在する。政治的に安定した社会と、混乱した社会がある。そうした中で情報が世界中を行き交い、船を使って海を越えて移動することが容易になれば、難民や移民が増えるのは当然のことだろう。日本も、そうした国際情勢の現実を直視しなくてはならない。

今の欧州が悩んでいるように、どこまで移民や難民を受け入れるのかということが大きな政治的な問題となる。

欧州が今後どのような決断をするかわからないが、移民や難民をより多く受け入れるとしても、あるいは受け入れを厳しく制限するとしても、そのための制度的な取り組みが必要となる。欧州でこれから起きることを注意深く見て、日本の将来の選択と対応に生かす必要がある。

\*この記事は静岡新聞社編集局調査部の許諾を得て転載しています。無断転載、複製を禁じます。